

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 212-0013

住 所 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地

氏 名 独立行政法人労働者健康福祉機構

理事長 武谷 雄二

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	独立行政法人労働者健康福祉機構		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	労働者の健康福祉事業（一般病院等）		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		3,502 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	医療企画部技術課
		所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地
	電話番号		044-556-9893
	FAX番号		044-556-9921
	メールアドレス		0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成26年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当機構の地球温暖化対策の取組みについては、ホームページにて公表しています。 http://www.rofuku.go.jp/jyoho/tabid/536/Default.aspx

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 6,354 t-CO ₂ (調) 6,347	(実) 6,526 t-CO ₂ (調) 6,518	(実) 6,216 t-CO ₂ (調) 6,207	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 6,163 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) -2.7 % (調) -2.7	(実) 2.2 % (調) 2.2	(実) % (調)	(実) 3.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量			単位		
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	①平成25年度は、前年度に比べ、夏季の外気温が高く、冬季の外気温が低かったため、空調負荷が大きくなった。②関東労災病院にてノロウイルスが発生し、再発防止のため、厨房の空調および温冷配膳車の運転時間を延長した。③関東労災病院にて医療機器（MR、リニアック）の更新（大型化）により機器からの放熱量が増えたため、空調負荷が大きくなった。
第2年度	平成26年度は、前年度に比べ夏期の外気温が低く、冬期の外気温が高かったため、空調負荷が少なかった。 また、照明器具の更新等の省エネ努力の結果、CO ₂ 排出量は基準年度比2.2%削減することができた。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等)	計 画	○健康管理センターの更新において、エネルギーセンターからの熱供給から個別空調方式に更新する。 ○受変電設備の容量と使用頻度を考慮しGHPもしくはEHPを採用する。 ○エネルギーセンターにおいて高効率な熱源設備への更新する。 ○高効率な照明器具の採用する。 ○西日対策として窓に遮熱コート塗布する。
	第 1 年度	○高効率な照明器具の採用 ○西日対策として窓に遮熱コート塗布
	第 2 年度	○エネルギーセンター熱源設備の省エネ化のため、更新計画を検討した。 ○放射線撮影室でのLED照明の採用、一部トイレ照明での人感センサー付LEDの採用を行った。 ○緑のカーテン・よしずを設置した。 ○ブランド及びカーテンを有効利用した。
	第 3 年度	
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

太陽光等について、できるだけ自然エネルギーの有効利用を図り施設維持管理に努めたい。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1. グリーン購入の推進を行う。 2. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。
第1年度	1. 事務用品等に対してグリーン購入の推進を図った。 2. 廃棄物の分別化を図った。 3. 職員のクールビズ実施期間の延長を図った。
第2年度	1. 事務用品等に対してグリーン購入の推進を図った。 2. 廃棄物の分別化を図った。 3. 職員のクールビズ実施期間の延長を図った。
第3年度	

様式第 2 号

(第6面)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	7,167	t-CO ₂
(調)	7,084	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
関東労災病院	木月住吉町 1-1	8311	一般病院	6,981 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	3

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--